



島根県立石見美術館

コレクション展「森鷗外ゆかりの画家たち」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「森鷗外ゆかりの画家たち」を下記のとおり開催いたします。

記

1. 会 期 令和8年4月29日(水・祝)～7月5日(日)

休館日：毎週火曜日(祝日の場合は次の平日)

開館時間：9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで)

2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室A(グラントワ内)

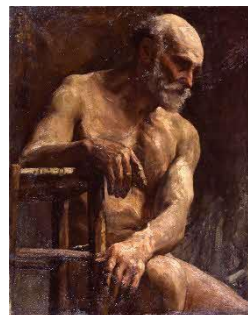
3. 概 要

当館では石見出身の文豪・森鷗外とゆかりのあった美術家の作品を収集、展示しています。作家として、また軍医として知られる鷗外は、美術に関する著作を数多く手がけ、また様々な美術家たちと交友を持っていました。

このたびは企画展「森鷗外ゆかりの洋画家 小堀四郎」の開催にあわせ、鷗外と親交のあった画家たちの作品を展示します。小堀四郎やその妻・杏奴(森鷗外の次女)がパリに留学したことや、画壇から離れて活動したことになみ、「留学」、「画壇」をキーワードに明治、大正の画家たちと鷗外との関わりを紹介します。

4. 展示点数 絵画(油彩画・水彩画)約20点(予定)、その他書籍など資料8点(予定)

5. 主な展示作品



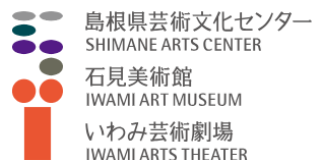
【左】黒田清輝《ポプラの黄葉》 鷗外がその華やかな画風に魅せられた日本近代洋画界の巨匠。フランス留学中に描いた、パリ郊外のグレー村の秋の風景。

【中】ガブリエル・フォン・マックス《煙を出す壺を抱く女性》 鷗外がミュンヘンに留学していた時の下宿の隣人。ミュンヘン芸術学校の教授で、鷗外の親友の洋画家・原田直次郎の師。

【右】中村不折《裸体》 鷗外の遺言により墓碑銘「森林太郎墓」を揮毫した書家であり、洋画家でもあった中村不折の、フランス留学中の作品。

< 取材をご希望の方は、前日までにご連絡いただきますようお願い申し上げます >

グラントワ Grand Toit



島根創生計画

VI心豊かな社会をつくる
2 スポーツ・文化芸術の振興
(2)文化芸術の振興(P.81)

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和8年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/yosan/yosanr8/r8gaiyou.data/sinkikakuju8.pdf>



(島根創生計画[第2期])

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku2nd.pdf>

